



2019.8.31 SAT
第93回 全国花火競技大会
昼花火 17:15~ 夜花火 18:50~

大曲の花火

OMAGARI HANABI

Young Entrepreneurs Group

奔流

発行 監事 栗津 憲靖

発行所
大曲商工会議所青年部
大仙市大曲通町 1-13
TEL62-1262
編集・発行
広報委員会

【大曲の花火を終えて】

監事 栗津 憲靖

2020年はパラリンピック開催期間中と重なり警備員等の十分な確保が困難になるだろう来年度を見据えての会場のレイアウト、入場方法が今年は大幅に変更されました。大曲花火大橋側に新たにベンチ席が設けられこと。大曲花火大橋と姫神橋間を行き来できるメイン通路には露店がなくなり通行しやすくなったこと。そして何よりも有料チケットを確認するゲートが堤防の外でも行われ、会場内には有料チケットを持っている人しかいなくなること。などなど他にもたくさんあると思います。が毎年進化し続け、花火ファンの皆様に楽しんでいただけるよう、より安全安心な大会運営をめざし、試行錯誤しながら迎えた当日も大

きな事故もなく無事に終えることができ、皆さんほっとしているのではないかと思います。

私たち青年部も例年通り2日前から栈敷席の番号札の確認、掃除を行いました。大会直前はころころ変わる天気予報や大雨・台風にはハラさせられますが、今年は大きな災害もなく天気も何とか持ちこたえてくれて当日を迎えられたと思います。

当日は曇り。朝5時集合。番号札の最終確認や前日まで降った雨のたまった栈敷席の水はらいの作業途中で時間となり持ち場へ移動しました。私は1番ゲート担当でしたが、9時からの有料自由席券を求めてすでに二列に三百メートルくらい並んでいました。ゲート設営中もどんどんお客さんが列に並び、いつになったら捌き終わるのかなと心配しながらの開始となりましたが、2時間くらいで一息つけるぐらいの人数になったと思います。それでもほとんど手を止めることなく15時半頃に完売となり、チケットが残っている5番ゲートへ誘導を始めました。が、

何十分もかけてやっとたどり着いたお客様に完売の案内をするのもすごく気の毒ではありましたが、何としても会場内で観たいお客様はチケットを求めて移動してくださいました。

14時過ぎにかなり強い通り雨に遭遇し、全身びしょ濡れとなるハプニングやちよとしたトラブルなどもありましたが、帰りの際のお客様からの「とても良かったです!」「最高!」という一言がうれしく、やって良かったなあとも思います。最後の見まわりを終え解散した時は本当に「終わった」という気持ちで胸いっぱいになりました。天候に悩まされながらも続いていく大曲の花火ではあります。会場運営もグレードアップしながらがんばって行きたいと思

います。皆様、本当にお疲れ様でした。



【大曲の花火を終えて】

専務理事 佐藤優作

8月31日土曜日、第93回全国花火競技大会が盛大に開催されました。

今年も、私たち大曲YEGメンバーは会場部として花火大会の運営に協力させていただきました。大会当日のみならず、前日、前々日から枚敷の確認、会場準備などに数多くのメンバーが参加して大会を安全に、そして大いに盛り上げさせていただきました。

事前の天気予報は今年も雨。しかし、メンバーはみんな余裕の表情です。誰も心配していません。大曲YEG、さすがです。そんなポジティブな雰囲気が伝わったのか、大会当日が近づくにつれ、降水確率はぐんぐん下がっていきましました。大会当日、にわか雨が降りましたが打ち上げ時にはすっかり晴れ、今年も最高の花火が打ち上がりました。

そして大会当日、大曲YEGメンバーのメインの仕事は入口ゲ

トです。ご来場いただいたお客様が安全に、そして気持ち良く大曲の花火を堪能していただけるようにしっかりと管理します。今年から新たな試みとして堤防の外にゲートを設置されました。新しいことを始めるとき先に立つのも、もちろん私たちの仕事です。大曲YEGメンバーが中心となってゲートを管理し、今年も大きな事故がなく、無事に大会を終えることが出来ました。今年も多くの皆様に喜んでいただけたことと思います。

私にとって、花火大会の運営に携わることが出来ることは、大曲YEGに入って良かったと思える瞬間の一つです。この会に入らなければ一生経験することが出来ないとても貴重な経験です。仲間との絆も深まります。大曲YEGに入って花火大会に参加しないなんて、本当にもったいない。まだ一度も参加したことがないメンバーは無理をしても絶対に参加すべきイベントです。人生観が変わるかもしれません。ただ、正直しんどいです。

【大曲の花火を終えて】

広報委員会 三浦隆吾

『花火良かったよ！』『また来年もくるよ！』令和最初の『大曲の花火』のプログラムが全て終わり、多くのお客様がお見送りの際に声をかけてくれました。

花火事業に関わる事が初めての私は、青年部の販売ブースにてドリンクや花火グッズを販売しておりました。

そんな中、日中雨に見舞われました。少しでも多くの来場者に雨宿りをしてもらおうとテーブルを下げ対応しました。遠方からお越しになった来場者の方にとって辛い時間だったかとは思いますが、ここでたくさんのコミュニケーションが生まれその後、このブースへ買い物をして来て下さる来場者の方も多くいました。

大曲の花火を通して多くの繋がりが笑顔と達成感を得る事ができ、自分自身にとってかけがえの無い経験となりました。

初めて『大曲の花火』を【観る側】から【もてなす側】を体験し



てみて、この事業に関わる多く人の底力や情熱やホスピタリティーを知る事が出来ました。ありがとうございました。



9月27日（土）～29日（日）

東北ブロック大会

やまがた新庄大会

10月12日（土）

大曲の花火「秋の章」

北緯40度Bライン協議会

第4回協議会①大曲

11月2日（土）

北緯40Bライン協議会

バスケットボール大会

毎週月曜日22時～22時30分

（再放送：土曜日20時）

大曲コミュニティFM「FMはなび」

大曲 YEG Presents

「YEGはLIVE（生）が好き」

絶賛放送中！



毎年盛大に行われる「全国花火競技大会 大曲の花火」その運営スタッフとしてわれわれ大曲YEGメンバーが携われることはとても大変ではあるけれども、来て頂いた来場者の笑顔を見ると携わって良かったなど毎年思います。

今年もゲートの配置を変えたり、小学生と高校生の混合チームでの来場者の案内など新たな取り組みにチャレンジしました。その中で大曲YEGメンバーの絆が深まったり、交流ができるのも花火大会の大きな意味でもあります。

まずは、無事「第93回全国花火競技大会 大曲の花火」が無事

終わることが出来たことに感謝をして、来年も来場者の皆様に感動を与えられるよう努力してまいります。

広報委員長

